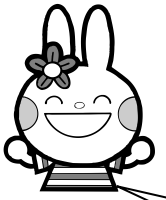
神明コミュニティだより

№１３

Ｈ２０．４．１１
鯖江市神明小学校

Community ： 深い結びつきをもった共同体



教頭　平成２０年度がスタートしました。今年度もよろしくお願いします。

保護者や地域の方々に神明小学校のことをよりよく知っていただくために、本年度も『神明コミュニティだより』を発行していきます。ご愛読のほどよろしくお願いいたします。

卒業証書授与式　　３月１４日（金）

３月１４日、平成１９年度卒業証書授与式がつつがなく執り行われ、８７名の子どもたちが巣立っていきました。厳かな雰囲気の中での卒業証書授与、在校生の明るく響く別れの歌、美しいハーモニーで聴かせてくれた卒業生の「旅立ちの歌」。１時間の短い式でしたが、すばらしい卒業式でした。

卒業生のご家族の皆様、おめでとうございました。

入学式　　４月７日（月）

今年度神明小学校に入学した新１年生は９１名。全校合わせて５１５名の児童で、平成２０年度がスタートしました。花冷えの天気でしたが、午前中はお天気もよく、桜の下で記念写真をとるご家族の方がたくさんおられました。

保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

○職員の異動

３月の定期異動で、７名の職員が転退職いたしました。本校に勤務した期間は１年から７年と職員により長短はありますが、いずれも神明小学校でたいへんお世話になり、また、育てていただきました。本当にありがとうございました。

同じ異動により、４月１日付けで、新たに１０名の者が神明小学校に赴任してきました。昨年度以上にパワーアップして神明の子どもたちのためにがんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。

○学校経営方針

平成１８・１９年度より引き続いて、岸松茂が学校長として神明小学校を経営してまいります。年度初めに当たり「学校経営方針」が出されました。地域の皆様にもご存じおきいただき、本年度の教育活動を見守っていただきたいと思います。

平成２０年度　学校経営方針

鯖江市神明小学校

１　学校教育目標

「自立心に富んだたくましい子の育成」

（校訓）自立真明

めざす子ども像　○みんなと仲良く助け合う子　明るい子
○めあてを持って学習する子　強い子　} たくましい子
○進んで体をきたえる子　元気な子

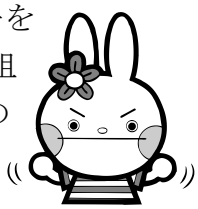
２　学校運営の基本方針

子どもたちが何事にも一生懸命取り組む、心と体を鍛える学校づくり
～地域とのかかわりの中で～

本校の校訓である「自立真明」は、独りよがりの利己的な自立ではなく、公正で正直な心を持った自立心を意味すると考える。そうした強さに裏打ちされた自立心に富んだたくましい子に育てていくためには、教育活動の中にこれまで以上に意図的に「鍛える」ことを取り入れていくことが必要である。「明るく」「強く」「元気な」たくましい心と体を育てていくために以下のような方針で学校運営を行っていく。

○ 豊かな心の育成を図る。
○ 授業の充実を目指し、確かな学力の向上を図る。
○ 身体的・精神的な体力と健康の増進を図る。

今年度のキーワードは「鍛える」です。本当の意味で心身共にたくましい子を育てていきたいという校長の強い願いのもと、それぞれの部署で具体的な取り組みを計画し、職員一丸となって実践していきたいと思っております。教育活動の実際は、紙面でお伝えしていきますので、ご注目ください。



○児童状況

（人）

	男子	女子	合計
１年生	４８	４３	９１
２年生	４０	３３	７３
３年生	５３	３８	９１
４年生	４６	４０	８６
５年生	４９	４０	８９
６年生	４０	４５	８５

合計

５１５人

○耐震補強工事について

新１年生の保護者の皆様には就学時健康診断の折りに校長から説明させて頂きましたが、本校は今年度耐震補強工事が行われることになっております。計画では、前期に北校舎と東校舎を、後期に南校舎と西校舎を改修する予定です。そこで、３月末に、南校舎の教室を全て普通教室にするために物品異動や教室移動を行いました。

お手伝いいただいたおうちの方々、本当にありがとうございました。本当に助かりました。平日の日中にわざわざおいでくださり、本当に感謝しています。ありがとうございました！！！（いくつ！をつけても足りないほど、感謝しています）

お子さんからお聞き及びだと思いますが、現在、子どもたちは全員南校舎の教室で生活をしており、北校舎への出入りはしておりません。玄関も南児童玄関だけ、トイレも南校舎だけ、特別教室にあった備品などを体育館のステージ側においてあるため体育館の使用は半分だけと、今までに比べると窮屈な空間で生活を送っています。

南校舎だけ見ると、昭和５５年に鳥羽小学校と分割する前の４０学級あったときのような状態です。人工密度が濃くなっている建物の中で、上手に生活できるように指導するとともに、工夫しながら教育活動を行っていくつもりでおります。

嬉しかったこと

４月８日（火）、この日は前日の入学式を終え、１年生が集団登校で初めて登校してくる日でした。玄関の使い方にとまどう子が出るだろうという予想、天気予報では午後から雨ということで傘を持ってくる子が多いだろうという予想、昨年度末の教室移動後の雨の日、自分の傘立てが分からない子が多数いて混乱したという事実、そんなことから考えて、どんな騒ぎになるかと心配して玄関に立っていましたが・・・・

神明っ子のすばらしさを目にすることができました！

◎前の人を押したり我先に進もうとしたりする子がおらず、どのクラスの子も順番を待って傘を傘立てに入れています。
◎上級生が（集団登校の班長さん）が下級生の世話をしています。
◎上級生が、１年生を先に通して、自分は玄関の混雑が収まるまでじっと待っています。

すばらしい。１学年進級したからでしょうか。回りの状況を見て、考えて行動できる子が多いのに嬉しいびっくり！神明の子は育っています！窮屈な空間にいると、譲り合うことの大切さ、相手を思いやることの心地よさを学ぶ機会が増えるのかもしれませんね。

しばらくは不自由をかけますが、子どもたちのたくましさに期待しています。

○私服についてのアンケート

２年生から６年生までの保護者の皆様には、私服登校になって１０年経過したということで、３月末に私服についてのアンケートにご協力いただきました。ありがとうございました。代表的なご意見（抜粋）をご紹介し、ご報告に代えたいと思います。ちなみに３０１名からご回答いただき、そのうち２７２名の方が「現状でよい」、２９名の方が「制服の方がよい」というご意見でした。

入学式や卒業式に改めて子供用スーツを購入しなければならず冠婚葬祭等にも不便なので制服があれば良いと思う。（４年児童母）

私服になって子どもたちの規律正しさがなくなってしまったように思う。（５年児童母）

制服の方が小学生らしく子どもたちもしゃきっとすると思う。（５年児童母）

毎朝目立たない服を選び着ていき、そのまま夜までそのかっこうなのでダラッと生活を送っているように見える。（１年児童父）

学校にいるときは体操服になり登下校のみ制服ならば、私服のままでよい。ただ、卒業式の時になどに「式にふさわしい服装」という表現の時困る。（２年児童母）

入学してからずっと私服での登校は反対でした。派手な服はだめだとかいろいろ気にしなければいけなかったのでとても大変でした。何年か前に卒業した子を持つ方に聞いたところ、女の子みんなでよく似た洋服を買って卒業式に出たがその服もそれっきり着なかったそうです。（５年児童母）

入学前は制服がいいと思っていましたが、いざ私服で学校が始まると着替えの心配をしなくてもいいので助かります。（１年児童母）

子どもが自分の好きな色柄などのささやかな「自己主張」ができるのがよいと思う。あるカウンセラーさんのお話で「子どもはたくさんの色に囲まれて育つ方がよい」という話を聞いたことがあります。（１・４年児童母）

小学校は６年間あり年々服のサイズも大きくなるので私服で助かっています。制服があっても私服は必要ですし、すぐに小さくなってしまうのでたくさん買い換えられませんが、手持ちの中から自分なりに考えた組み合わせで用意して着ているようです。暑さ寒さも調整しやすく洗濯も簡単です。利点も多い私服ですが、派手になりやすいとも言われます。まだ低学年のためかブランドのは買っていませんし欲しいとも言いません。高学年になって多少ファッションに興味を持つようになるとは思いますが、高額な洋服や派手な服は必要ないので買うつもりはありません。（２・３年児童母）

派手すぎず高価すぎず年齢にあった服装を親子で心がけながら毎日登校すれば私服で問題ないと思います。私服登校によるいじめなど問題視する意見もあるかもしれませんが、私服以前の問題であり、大人が思っている以上に子どもは賢くここの考えをしっかり持っていますし、教員、親の協力で回りから非難されることのないよう努力しながら私服登校を継続して頂きたいと思います。（２年児童母）

丹南地区で唯一の神明小の独自性を保つことも大切なことだと思います。（３年児童父）

たくさんご意見を書いて頂き、読み応えがあり嬉しく思いました。貴重なご意見の数々ですのに、全部掲載できず申し訳ありません。

学校の方針としては、今後も当分の間、このまま制服なしを継続する予定です。ご理解とご協力をお願いいたします。